

桜圃会報

編集発行: 山口県立大学同窓会桜圃会
 事務局 〒753-8502 山口市桜島3-2-1
 TEL&FAX083(925)7485 振替口座01570-2-25095
 メールアドレス ouhokai@yamaguchi-pu.ac.jp
 印刷: (株)マルニ

Vol.57

平成21年3月1日発行

はーとボランティア



山口デザイン研究会



吹奏楽団BLAZE



桜圃会賞授賞式にて

第8回桜圃会賞

平成二十年度総収入は二十一億千七百万円（運営交付金十一億七千五百万円、学生納付金八億千四百万円、その他二億二千八百万円）で、平成十九年度が二十億六百万円でしたので、一億千百万円の増収となりました。これは主として運営交付金（千六百万円増）と文部科学省大学教育改革支援プログラム採択による財政支援（七億四千四百万円純増）によるものでした。一方、支出は人件費十五億九千七百

目標期間の折り返し点という大きな節目を迎えるため、これまで以上に「存在感のある県立大学」として、大学運営を行つてまいりました。特に予算に当たつては教育・研究の活性化、地域貢献・連携の強化、学生への支援の充実、国際化への対応を重点項目とし、限られた財源の中で計画的かつ有効に予算を配分しました。

平成二十年度総収入は二十一

億千七百万円（運営交付金十一

億七千五百万円、学生納付金八

億千四百万円、その他二億二千

八百万円）で、平成十九年度が二十億六百万円でしたので、一億

千百万円の増収となりました。これは主として運営交付金（千六百万円増）と文部科学省大学教育改革支援プログラム採択によ

る財政支援（七億四千四百万円純増）によるものでした。一方、支出は人件費十五億九千七百

大学予算の現状

学長（理事長） 江里 健輔



が、研究費が一億千八百万円と総支出の五・六%であることが特筆されることです。大学の使命は優れた人材を養成し、社会に送り出すことであることは勿論ですが、未知への探索も重要であります。

最近、国公立大学が独立行政法

人化となり、運営交付金も減額され、大学運営も困難を極める状況にあります。本学もその例外ではありません。しかし、如何なる状況にあろうとも、研究費の削減は教員の教育・研究のモチベーションを低下させ、ひいては、学生教育に影響してまいります。大学生生き残り、発展の礎は教員の研究であると信じていますので、研究費の確保、これだけは死守したいと頑張っているところです。このことこそ、先輩が培われた本学六十年にわたる輝かしい伝統を守り発展させるこ

とであると確信しています。

桜圃会会員の皆様の更なるご支援を賜りますようお願い申しあげます。

GPの取組について

副理事長（事務局長）
伊嶋 正之

昨年度の会報で、採択についてお知らせした五件のGP（文部科学省大学教育改革支援プログラム）も、二年目に入りました。今回は、各GPの取組について御紹介します。

①現代GP・やまぐち多世代交流・地域共生授業の展開



③現代GPでの取組: 緑のカーテン

制度を設け、「環境システム」と「健康」の二つの領域で専門的教育を開始しました。夏に出

現した巨大な緑のカーテンもこ

の取組の一環です。

②特色GP・重層的学生支援
人との出会いによる福祉的

教育による福祉人材の養成

人間力の向上を目指しています。

昨年十一月「地域交流スベースYucca(ユッカ)」をオープンし、多彩な催しを行っています。ぜひお立寄りください。

③特色GP・重層的学生支援
人との出会いによる福祉的

教育による福祉人材の養成

人間力の向上を目指しています。

昨年十一月「地域交流スベースYucca(ユッカ)」をオープンし、多彩な催しを行っています。ぜひお立寄りください。

④学生支援GP・総合的人間

実践的な環境・健康教育を行つ

ています。今年度、新たに副専攻

繋がる人的財産の育成

④学生支援GP・総合的人間

実践的な環境・健康教育を行つ

ています。今年度、新たに副専攻

繋がる人的財産の育成

⑤社会人GP：行動変容を促進する栄養指導法を身に付ける栄養士キャリアアップ支援プログラムの開発

社会人栄養士のためのメタボリックシンдромに関する専門的な研修プログラムです。今年度も十名の栄養士が受講されており、メタボ対策における今後の活躍が期待されます。

なお、二十年度には、新たに「国際化加速GP」が採択され、英語で世界に発信する教育に取り組んでいます。

その一環として平成二十年度は、各支部会においてアンケートを実施させていただき、十二月現在百六十二名の方の声が寄せられています。本学の現在

の教育・研究・地域貢献に関する評価と将来への期待を丁寧に書き綴ってくださいました。ご協力くださった会員の皆様に感謝いたします。

途中経過ですが、その中で「大

くお願い申し上げます。

こうしたGPの取組も、桜園会の皆様をはじめ多くの先輩

方が築いてこられた良き伝統があつてこそ実現したものと考えており、今後とも、県立大学に

対する御支援について、よろしくお立寄りください。

卒業生の声をお聞きするシステムを考えています

教育研究活動等点検評議委員会
看護栄養学部 准教授 乃木 章子

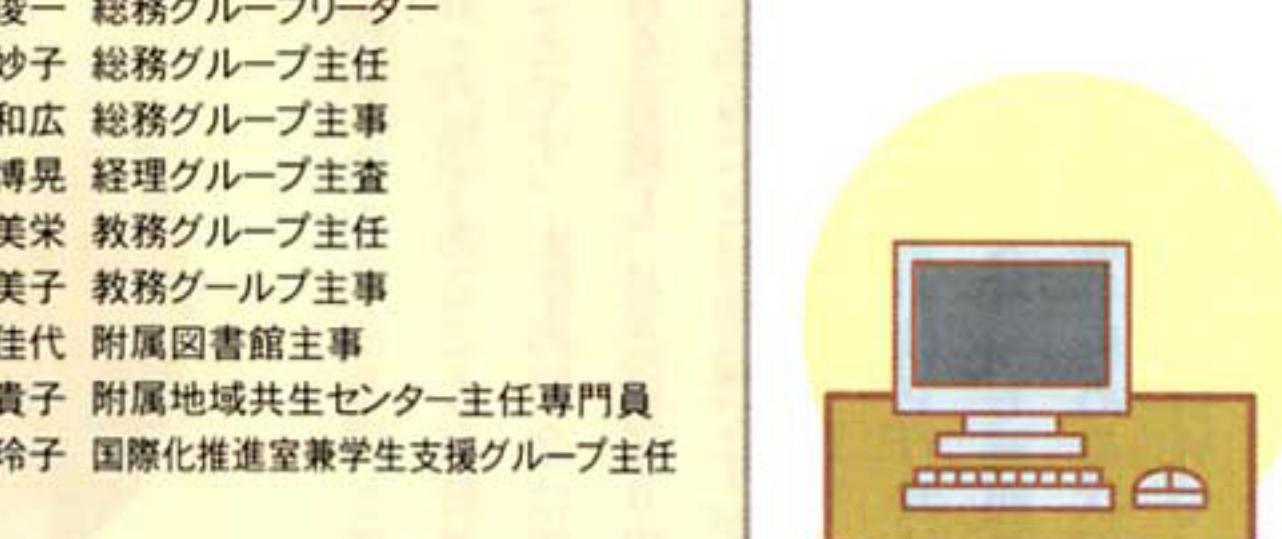
本学では、「学生の進路や就職状況に関する卒業生の声、地域社会の声を生かして教育活動の改善方策を検討する仕組みを整える」計画を平成二十二年度完成を目指しています。

その一環として平成二十一年度中には、インターネットを通じた大学および桜園会の紹介やご意見を伺うシステムを試行的に稼動させる予定です。どうぞこの期

間には、見たいことがない」と答えた方が両とも九〇%を超えていました。

しかし「今後は見てみようと思う」と答えた方も七一%ありました。

この回答を頼りに、平成二十一年度中には、インターネットを通じた大学および桜園会の紹介やご意見を伺うシステムを試行的に稼動させる予定です。どうぞこの期





江里健輔名誉学長のごあいさつ

第六十四回桜圃会総会が、平成二十年五月二十五日(日)ホテルニュータナカに於いて、一一三名の出席を得て開催されました。

吉村京桜圃会会長より「会員一人ひとりに大学や本部の活動状況が伝わりにくい現状の中、大学と会員とのパイプ役を果たす努力をしていきたい」と挨拶があり、名誉会長江里健輔学長から「桜圃会と大学は表裏一体。地域貢献に力を入れ、存在感のある大学にしていきたい」とのお言葉を頂きました。

続いて、県立大学国際文化学部名譽会長江里健輔学長から「桜圃会と大学は表裏一体。地域貢献に力を入れ、存在感のある大学にしていきたい」とのお言葉を頂きました。

学間交流の中でも、ファッショントヨーを度々開催されるなど、映像に目を奪われながら時を忘れて楽しく拝聴しました。

十五年前県大赴任当初、山口中を回つて地域の自然と文化に触ることから先生の活動は開始。萩の竹や伝統織物柳井編を活かしたファッショントヨーを手がけたり、二〇〇六年国民文化祭では、デニム生産西日本一の山口を、デニムファッショントヨーの発信地にしようと「街じゅうデニム法被展」を開催したり。又、開発中の白色発光ダイオードを使って、チヤツカリ安倍元総理夫人の宮中晚餐会用のドレスを制作されました。

(昭和四十三年国文卒 熊本記)

平成二十年度 桜圃会総会開催

教授水谷由美子先生の「地域文化と国際交流に着想を得たファッショントヨーの創造性と発信」と題したエネルギーな講演。

二十歳の県大生によるフラメンコ。軽快なステップ、華やかに翻るドレスに魅了され、すっかり若返つて会場を出れば、前夜の雨に洗われた樹々の緑さらに清新、さわやかな一日でした。

(リクリエーションは、正真正銘

事務局からのお願い

同窓会の運営は皆さんのがんばりで成り立っています。
会費の納入にご協力下さい。

◆桜圃会本部経常会費納入(年間千円)をお願いいたします。
*65歳以上の会員で希望される方は終身会員になります。
終身会費は一括払い一万円です。

◆振込用紙には会員番号(封筒の宛名シール右下)・卒業年・科・勤務先・送金明細・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)を必ずお書き下さい。
コンピューター処理を行いますので、郵便番号及び住所(番地、建物名、部屋番号)を正確にご記入下さい。
*住所、勤務先の変更、改姓の際もお知らせ下さい。

◆ご連絡・ご質問の窓口
山口県立大学同窓会桜圃会事務局

住所 〒753-8502 山口市桜島3-2-1
TEL&FAX 083(925)7485(職員在室日は水・金曜日 10時~17時)
E-mail ouhokai@yamaguchi-pu.ac.jp
山口県立大学のホームページからもアクセスできます。
(http://www.yamaguchi-pu.ac.jp)

*桜圃会では、個人情報保護法を遵守し、取り扱いについて慎重に対応してまいります。

■会 費	
当番幹事は	5,000円
H5・10・15・S	2038・43・48・58・63
幹事さんです。	20年卒業のクラス
までに同窓会事務局までお知らせください。	*
出席)ご希望の方は、5月13日(水)	

平成19年度桜圃会会計収支決算書 H20.3.31(単位:円)

科 目	19年度決算額
収 入	
縁 越 金	5,559,406
經 常 会 費	2,875,000
本 部 入 会 金	5,242,551
事 業 負 担 金	723,000
雜 収 入	59,147
合 計	14,459,104

支 出	
總 会 費	726,998
会 議 費	282,960
支 部 援 助 費	986,300
会 報 作 成 費	1,306,150
公 開 講 座 費	281,223
桜 圃 会 賞 費	384,291
桜の森育成事業費	39,671
入 会 記 念 品 費	337,920
旅 費	1,163,445
通 信 費	119,176
印 刷 費	17,850
事 務 局 運 営 費	2,236,741
情 報 管 理 費	120,905
備 品 費	202,155
消 耗 品 費	128,506
雜 費	155,530
特 別 会 計 に 繰 入	500,000
予 備 費	0
合 計	8,989,821
次 年 度 繰 越 金	5,469,283



授賞式場にて

第八回 桜圃会賞
受賞報告

第8回
桜圃会賞

桜圃会功劳賞を 受賞して

田中
和代

この度、思いがけず功労賞を受
賞させて頂きまして、私ごときが
と未だに信じられない思いで一杯
でございます。

卒業、就職、結婚、そしてその後の生活環境の急変の中で、地域の視覚障害者の方々との交流が始まり、それが音訳ボランティアグループ「こだま会」の立ち上げになりました。

そしてこの活動は、自分自身に

最後になりましたが、山口県立大学、桜圃会の益々の御発展をお祈りいたします。

う事を誇りに、平凡でも自信を持つて、毎日を過ごしたいと存じます。

（昭和三十六年食物卒）

第8回 團会 獎励賞を受賞して

第8回
桜園会賞
奨励賞を受賞して
吹奏楽団BLAZE
清水 美里

この度桜圃会奨励賞を受賞しました、山口県立大学吹奏楽

とても生きがいとなり、周囲の協力、ご支援を頂きながら足かけ三十年続いております。たった二年間の宮野での生活でしたけれど、その時に育まれたものが、「ボランティア活動」の認識されはじめた環境の中で、自分の進むべき方向を決めてくられた様な気がいたします。

とっても生きがいとなり、周囲の協力、ご支援を頂きながら足かけ三十年続いております。

A photograph showing a band performing on stage. The band members are wearing blue uniforms with red sashes and hats. They are playing various brass instruments like trumpets and tubas. A conductor in a white shirt and dark trousers stands in front of them, facing away from the camera. The stage has a white banner with large black Japanese characters: 華月祭 (Hachimotsukaze Matsuri). In the background, there are trees and some metal scaffolding.

A photograph showing a band performing on stage. The band members are seated in rows, playing brass instruments. A conductor in a white shirt and dark pants stands in front of them, facing away from the camera. The stage is set outdoors with a large metal scaffolding structure in the background. In the foreground, a white banner with large black Japanese characters "華月祭" (Hachimatsuri) is visible.

活動を通じて得るものが多く、特に演奏を聴いて下さる方々の応援が支えとなり、日々成長している楽団です。

今後も積極的に地域のイベントなどに参加し、BLAZEの意味である“きらきらと光輝く”音楽を届けたいと考えております。また皆様に愛される楽団を目指し精一杯活動を続けていきたいと思います。これからも暖かく見守っていただければ幸いです。ありがとうございました。

第8回 圃会賞

（環境デザイン三年）

奨励賞を受賞して

第8回 桜圃会賞 奨励賞を受賞して
はーとボランティア 高橋 佑太
この度桜圃会奨励賞を頂きました。はーとボランティア実行委員会です。

この度桜圃会奨励賞を頂きました。はーとボランティア実行委員会です。

はーとボランティアは、卒業された先輩方が行つてきたHeart & Heartという活動を引き継ぎ、山口市の高校生を対象に、児童や障害児のボランティアに関する講座やクリスマス会を開き、実際にボランティアを行う際の接し方や現場で感じたこと、不



（社会福祉三年）

いくことや、高校生と地域の橋渡し役を行っていきたいと思います。これからも温かく見守っていたければ幸いです。よろしくお願ひします。

安に思つたことをスタッフの大学生と意見交換し、高校生のボランティアの啓発に繋げていけるよう、活動しています。

A group of approximately 15 young people, mostly women, are posed for a group photo. They are all smiling and making peace signs with their hands. In the front center, a woman holds up a large white banner. The banner features the Japanese text "はーピボランティア" (Happi Volunteer) in blue, stylized letters above a rainbow. Below the rainbow, the word "こうさ" (Kousa) is written in blue. The banner is decorated with two pink hearts at the ends and small yellow stars along the bottom edge.

奨励賞を受賞して

山口デザイン研究会
竹部 徳真

作品制作風景



この度、桜園会奨励賞を受賞しました山口デザイン研究会です。このような賞を頂くことができたということは、私たちのこれまでの活動が評価されたのだと感じております。今までみんなと頑張つてきましたことが、このようなかたちとなつて表れたことを大変うれしく感じております。

私たち山口デザイン研究会は、

環境デザイン学科の学生有志により結成された創作活動の団体です。

メンバーはその都度違います

今まで制作した作品を地域の方々にご覧頂くとともに、初日には作品の説明会も行いました。今後もこのような機会を設けて、我々の活動や山口県立大学のこととを知って頂けたらと思います。ご声援よろしくお願いします。

(環境デザイン三年)



支部長・理事合同会議に出席の支部のみなさま

第十三回 桜園会支部長・ 理事合同会議報告

平成二十年五月二十四日、山口市のホテルニュータナカにおいて、十九支部二十二名の支部長および関係者と十五名の理事の出席を得て、第十三回支部長・理事合同会議が開催された。会議の冒頭、吉村会長が「会員の把握と同窓会活動に対する会員の関心の低下は継続的な

拒否される会員が多く、当番幹事制が機能していないことが報告された。また、同窓会の個人情報の取り扱い方針のため、会員名簿の作成が困難であることも報告され、各支部が共通して抱えている課題が浮き彫りとなった。この他にも、終身(永年)会員の取り扱いや栄養学科の同窓会設立などについても報告された。

(平成十二年看護卒 田中記)

平成二十年度 大学との情報 交換会報告

本年度は、五月二十四日と十一月三十日の二回にわたり、大学との情報交換会が開催された。五月の情報交換会では、大学の近況報告が行われ、同窓会から事前に提出した質問内容についての説明が行われた。質問内容につい

ては、「課題である」と挨拶された。次に、各支部からの報告が行われ、支部活動に関して困っていることの意見交換が行われた。そのなかで、多くの支部で仕事や育児などを理由に同窓会活動を

としている教員の研究時間の確保や介護・福祉分野の将来、学生の就職率・留年、生涯学習、大学施設の使用、キャンパス移転などについてであった。また、支部長・理事会と同時開催であったため、各支部からの要望も大学側に伝えられた。県外の支部からは、大学の活動状況や広報などに関する意見が活発に出され、県内の支部からも、公開講座をはじめとした大学との共同活動に関する意見が多く出された。十一月の情報交換会は、各理事からの自由な質問によるざっくばらんな形で執り行われた。五月同様にキャンパス移転をはじめ、桜の森プロジェクトや大学との共催事業の体制整備、地域共生センターの活動、学生の地域でのマナー、就職状況、大学祭などについての意見交換を行った。どちらの情報交換会でもキャンパス移転についての質問があつたが、県事業であるため県との調整が必要であるとのことであつた。しかし、江里学長からは「キャンパス移転などの今後の大学改革には同窓会の協力が必要不可欠である」というお言葉があり、引き続き同窓会からの支援を求められた。

(平成十二年看護卒 田中記)

叙勲に際して——「残月」の夜——

名誉教授 福田百合子

次田 愛

せつかくだから

刊 紹 介

江里 健輔著(理事長(学長)
文藝春秋)一、六〇〇円+税

平成二十年十一月十三日皇居に参内、天皇より「長年にわたりご苦労でした」とのお言葉をいただきました。当日午前中にグランド

折と皇室写真のお土産が配られました。菓子折の中味は「菊焼残月」の銘。菊のご紋章の焼印を押した、たっぷり餡入り、大型どら焼き風。

と賞状授与。文部科学省、教育普及の分野「瑞宝中授章」です。水色と白色リボンの勲章を職員の方が胸にかけて下さいました。花びら型の七宝に紅色の石が散りばめられ美しいのですが、少し気はすかしく。

その夜は、在京若者数名（イケ面揃い。国文科卒業生の子弟たち）と合流。高田馬場で痛飲。花籠を貰い翌日帰山。「残月」を細く切り分け、中也記念館二同有難く賞味致しました。ご推薦の大学当局・同窓会の皆様に、心より御礼申し上げます。

台に分乗しての大移動でした。私の番号は三一七番、六台目のバスで、列の前の方ではあります、それ

(昭和二十三年国語卒)
（宮内大尉にて）

11

叙勲者は五列、後に配偶者は四列に（付添人は入れません。私の場合、シングル。少なからず寂しく…）並んで、しずしずと皇居の長い廊下を進みました。（高齢者が多く、自然によろよろ静々となります。）天皇拝謁の後、またゆっくりと

帰りのバスの中で、御下賜の菓子



前列左、福田百合子先生(11月30日ホテルニュータナカにて)

おじさま、そしてクリエイティブアーティストとしての才能を発揮する。学時代の事を色々思い出しました。私が思い描くキャンバスラーヴィフとはテニスサークルかなんかに入つてセーターを肩にはおつている歯の白い男子と戯れるというものでした。しかし現実は田舎で遊ぶ所はなく、当時はまだ女子大だった為、歯の白い男子もいませんでした。しかし今改めて大学時代を思い返すと本当

に楽しい四年間でした。それはきっと自分がないものねだりをせず今ある物で工夫したからだと思います。これは芸にも役立っています。例えば今の流行に合わせて自分にない物を無理に表現しようとしても白々しくて面白くないので。芸人は自分が持っている物で勝負しなければいけないわけです。自分がいら

ないと思つてゐるような悪い部分でも使い方次第でとても強い武器になるのです。私の楽しく生きる秘訣は「ないものを嘆く暇があつたら今あるもので工夫をする」です。悩む為に脳みそを使うなんて勿体ないのです。楽しむ為に脳みそを使いましょう！　もしくはお笑い芸人「マナティ」を使いましょう！

なお、本書の売上金の一部は、教育研究推進費として本学に寄付される」となっています。

現在、医療の問題点の一つは、医療人が患者さんは「気」を持つている一人の人間であることを、心に深く留めていないことです。そのためには医療人と患者・家族の間で感情の繋れが生じています。本書は、外科医としての三十七年余りの経験をもとに、入院期間と病院収入、末期ガンに対する医師の対応、代替医療の用い方、薬の服用などについて患者さんの目線の立場より医療の問題点をとらえたものです。

大丈夫！
すぐすぐのびたよ
自閉っ子

竹島 尚子著(平成七年国文卒
花風社(一、六〇〇円+税

子どもから大人へ 101話

三島 正英著(理事・副学長
佐賀新聞社(八〇〇円+税

〔平成十二年国際文化卒〕

卒業後半世紀の クラス会

山名 清子

昭和三十三年家政科・児童専攻卒業のクラス会をゆかりの地山口で開催しました。年に二回くらいの割合で各地を回り、今年は七回目で宇部がお当番でした。

「今年は卒業して五十年になる記念の年でもあります。同窓生『みみの会』(三十三年卒でみみの会です)として記念すべき年に当たり母校の校庭に集い、残された人生の再出発を期そうではありますか」というお誘いの手紙

でもありました。

六月三日、四日と一泊二日の日程で、三日十三時四十五分新山口駅集合です。すっかり様子は変化。すこしの上なく、榎木寮の門札はことのほかその昔を偲ぶ縁となりました。学舎の全てそして桜の森まで大先輩に御案内していただき大変



(昭和三十三年児童卒)
者三名、今回の出席は二十二名でした。

「中也記念館」のみ。中也記念館では、それぞれ若かりし頃に思いを馳せ、すばらしい時を満喫しました。

昼食をとりながら名残は尽きませんでしたが、再会を約し解散です。

因に、卒業生三十九名、物故

二〇〇八年四月から、山口県立大学教務グループに勤務しています。

先日、今年度採用された四人のプロパー職員のみなさんと一緒に、研修の一環で「大学自慢コンテスト」に参加し、山口県立大学の自慢をしてきました。

県大の魅力は、「人と人との絆の強さ」だと思います。学生にインタビューをしてみると、「アットホームなところ」、「地域の人と交流できる点」、「温かい人間関係」などと答えてくれ、

私も同じように感じていること

雪舟庭、五重の塔と回り湯田の宿へ。今回はおしゃべりをということでゆつたりした企画です。翌四日は朝ゆつくりして見学は

宗内恵美子

が分かりました。
学生時代、私は日韓学生交流への参加をきっかけに、韓国に夢中になりました。「日韓友好のための取り組みがしたい」とい

う夢を見つけ、同じように自分の夢を実現しようとする多くの友人や、どんな時にも応援してくださる先生方と出会い、充実した四年間を過ごすことができました。

(平成十八年国際文化卒)

る自分だけの何かを見つけてほしいと思います。そして私は、後輩達のために、よりよい母校にしたい、夢溢れる県大を創りたいと思いま

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

◆教職員

旧職	梶山 厚	H19.1.22
旧教	砂田 弘	H20.3.21
旧職	舛井 博	H20.5.30

◆会員

S33被服	菊本千鶴	
S24国語	山縣良枝	H17.12.30
S46保育	飯田康子	H18.1
S25育児	田中節子	H19.1.29
S27被服	岩本隆子	H19.5.8
S39保育	栗田澄子	H19.6.8
S33被服	五嶋笙子	H19.8.20
S26食物	山崎多嘉代	H19.10.2
S24育児	吉田照子	H20.3.14
S22被服	松重美代子	H20.4
H18大学院	増岡 健	H20.4.9
S42保育	稻田民恵	H20.4.26
S31被服	玉井文子	H20.4.30
S28食物	福田エミ子	H20.6
S60国文	石川幸子	H20.9.7
S27食物	岡田キヌエ	H20.11.25
S25被服	宗内徳子	H20.12.17
S19国文	久賀弘子	H20.12.21

卒業した今も、恩師の先生に声をかけていただき、地域の方々や後輩、留学生達と韓国にての勉強を続けています。勉強会を通して広がる人の輪についても感謝しています。

県大の後輩達にも、多くの人と関わるの中で、夢中になれるもの、目を輝かせて取り組め



前列左から2番目、宗内恵美子さん



「癒しの空間へ タイムスリップ」

防府支部 三戸 美江

中国山脈の渓谷が少し色づき始めた十月の日曜日、防府支部総会を開催致しました。二年に一度の総会ですが今年は思いきって山口を離れ広島の奥地、吉和に集いました。温泉に美術館と、心ほどける癒しを願つての総会でした。

社会福祉学部の正司明美先生と国際文化学部の安光裕子先生、そして福田百合子先生にもご出席いただきました。正司先生には「元気な時に考えたい人生の最終章」という演題で、人としての究極の心の淵を紹介していただきました。ソーシャルワーカーとしての長い経験から、心に深く響くお話をでした。やがて訪れる人生の最終。しつかり自分と向き合いこれからを過ごしたいと思いました。講演の合間にには、福田先生の詩の朗読を聞かせていただき思わず学生時代にタイムスリップしました。講演の後の美術館も素晴らしく、充実した癒しの一日となりました。

母校は、短期大学から女子大学、そして共学の県立大学へと時代と



五一名ですが最近は名簿に男性のお名前があります。今回男性会員の参加はありませんでした。が、桜園会の伝統を受け継ぎながら、新しい形の同窓会として防府支部が益々発展して行くよう願い、見守りたいと思います。

(昭和五十一年国文卒)

共に移り変わり、今では全国でも有数の公立大学法人として様々な実績を重ねておられ、卒業生として嬉しく誇りに思います。

防府支部の現在の会員は、四

県立大学が生んだ箏奏者 加藤美枝さんと至福の時を

山口支部四十五周年記念事業実行委員会

委員長 中川 忍子

山口支部も今年で四十五周年を迎えることとなりました。

先輩諸姉のお力によつてここまで発展した支部活動を広く地域に紹介し、後輩の皆様の励みにもなる事業として「加藤美枝・コラージュコンサート・箏で奏でるボップスの世界」を、県立大学と共に催で企画しました。

加藤美枝さんは昭和六十三年山口女子大被服学科卒業で、幼い頃から琴を習われ、在学中本格的に修業を始められました。

宇部市文化功労賞受賞、NHK邦楽オーディション合格、ロシア公演など数々の実績を積まれ、平成十八年からはコラージュコンサートでの演奏活動や後進の指導等で活躍中です。

公演は四月二十六日(日)十四時から県立大講堂(桜園会館)です。五年がかりの実行委員会の成果をご期待ください。

ご来場をお待ちしています!

平成20年度支部会開催報告

開催日	支部名	本部からの出席
20年 4月20日	山 口	シャルコフ・ロバート先生／吉村 京会長
20年 5月22日	福 岡	
20年 6月 1日	小野田	江里健輔学長／乃木章子理事
20年 6月 8日	近 織	市村孝雄先生／土田敏子理事
20年 6月14日	関 東	大和保男先生／吉村 京会長
20年 6月15日	萩	正司明美先生／国広勝代理事
20年 6月21日	下 関	
20年 6月22日	宇 部	福田百合子先生／梅地一枝副会長
20年10月 5日	東 海	
20年10月18日	広 島	松岡洋子先生／吉村 京会長
20年10月19日	防 府	正司明美先生／安光裕子理事
20年10月25日	長 門	江里健輔学長／国広勝代理事
21年 2月 8日	徳 山	江里健輔学長／吉村 京会長
21年 2月15日	柳 井	大和保男先生／松岡洋子先生

編集後記

「公立大学法人」として生まれ変わっていく母校。外からではその変化を感じることは少ないのですが、江里健輔学長よりご寄稿頂いた「大学予算の現状」を拝読しましたと、学内の緊張感がひしと伝わって参ります。そうした中で同窓会に求められるものを考えたとき、卒業生ひとりひとりの母校を考える気持ちは何より大学を支える力になるだろうことに気付かされました。

桜園会支部リスト (平成21年1月現在)

支部名	支 部 長 名	支部会員数(名)
山 口	弥源治昌子(国文38)	1,366
宇 部	寿恵村陽子(食物40)	816
小野田	古谷 厚子(児文54)	170
下 関	野尻美智子(保育43)	494
徳 山	野深 妻子(被服34)	363
下 松	清木 秩子(国文33)	309
萩	藤井 郁子(国文47)	154
防 府	三戸 美江(国文51)	455
長 門	中澤 允子(被服36)	127
柳 井	木村 優乃(食物37)	241
岩 国	上田 満江(被服29)	218
北九州	高津 優子(食物39)	449
広 島	松原 正美(国文33)	550
近 織	赤木 紗子(食物45)	646
関 東	山岸 洋美(保育46)	844
福 岡	毛利 縫子(国文34)	449
四 国	村松 幸子(食物35)	273
東 海	藏重 文子(国文38)	140
佐 賀	久保由美子(食物49)	126
大 分	栗屋 文世(国文44)	259